

フェンシング拠点都市を目指した取組について

本市は、平成31年2月1日、日本フェンシング協会との間でフェンシング競技を通じたスポーツ振興及びスポーツツーリズムの推進を図ることを目的とした連携協定を締結しました。日本フェンシング協会は、東京一極集中の競技強化体制から脱却し、地方に拠点づくりを進めたいと考えており、沼津市と日本フェンシング協会は、相互の目的を達成するため、連携を図りながらフェンシング拠点都市づくりに取り組んでいきます。

この取組の第一弾として、6月1日のフェンシング体験会を皮切りに、今後、さまざまな取組をスタートさせていきます。

「フェンシング＝沼津」ブランド確立に向けて

【取組1】 トップ選手の育成・輩出

沼津がフェンシングの拠点であることを象徴する世界レベルの選手（シンボルフェンサー＝国際大会金メダリスト）を育成・輩出するために、少数精鋭による才能豊かな選手の少年期からトップ期までの指導を一貫して行っていきます。

【取組2】 裾野の拡大

市内の競技人口拡大や、新たな民間クラブ創設などによる裾野の拡大を図るため、体験会の開催や指導者の育成を進めます。

【取組3】 環境づくり

フェンシング拠点都市づくりに不可欠な専用練習場の確保や、トップを目指す選手が安心して競技に専念するために必要となる学校や企業等からの協力・支援体制を構築していきます。

上記取組を継続的に推進して、「フェンシング＝沼津」のブランドを形成し、世界大会や代表合宿の恒常的な開催につなげることで、「誇り高い、元気なまち沼津」を実現させます。



オリンピック2大会連続出場経験を持つ長良 将司主任体育指導員

